

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

■ 事業報告概要

1~7

■ 事業報告

| No | 項目 | ページ |
|----|--------------------------------|-----|
| 1 | 法人会務の運営 | 8 |
| | 1) 理事会 | 8 |
| | 2) 評議員会 | 8 |
| | 3) 監査会 | 8 |
| 2 | 会費、寄付金及び共同募金 | 9 |
| | 1) 会費 | 9 |
| | 2) 寄付金 | 9 |
| | 3) 物品寄付 | 9 |
| | 4) 中津市共同募金委員会への協力 | 9 |
| | 5) 中津市共同募金委員会への協力（義援金） | 9 |
| 3 | 住民主体による小地域ネットワークの推進 | 10 |
| | 1) 寄り合いの場支援 | 10 |
| | 2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援 | 10 |
| | 3) 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画 進捗確認の座談会 | 10 |
| | 4) 各種団体助成金 | 10 |
| 4 | 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実 | 11 |
| | 1) 障がい者福祉サービス事業 | 11 |
| | 2) 移動支援事業 | 11 |
| | 3) 障がい児（者）余暇活動支援事業（てくてく） | 11 |
| | 4) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音） | 12 |
| | 5) 障がい者等生活環境整備事業 | 12 |
| | 6) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業 | 12 |
| | 7) 福祉用具貸出事業 | 12 |
| | 8) 福祉啓発イベント | 12 |
| | 9) 介護保険事業 | 13 |
| | ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームやすらぎ荘）事業 | 13 |
| | ② 短期入所生活介護（特別養護老人ホームやすらぎ荘）事業 | 13 |
| | ③ 訪問介護事業 | 13 |
| | ④ 訪問型サービスA | 13 |
| | ⑤ 通所介護事業 | 13 |
| | ⑥ 通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ） | 13 |
| | ⑦ 訪問入浴介護事業 | 13 |
| | ⑧ 居宅介護支援事業 | 13 |
| | 10) 高齢者生活福祉センター事業 | 13 |
| | 11) 老人福祉施設 養護老人ホーム（豊寿園）事業 | 14 |
| | 12) 地域包括支援センター事業 | 14 |
| | 13) 認知症地域支援推進事業 | 15 |
| | 14) 生活福祉資金貸付事業 | 16 |
| | 15) 生活困窮者自立促進支援事業 | 16 |
| | ① 家計改善支援事業 | 16 |
| | ② 就労準備支援事業 | 16 |
| | ③ 社会資源等研究開発事業 | 16 |
| | ④ ひきこもり支援事業 | 16 |
| | ⑤ 一時生活支援事業 | 17 |
| | ⑥ 支援調整会議 | 17 |
| | ⑦ その他の支援事業 | 17 |

■ 事業報告概要

1~7

■ 事業報告

| No | 項目 | ページ |
|----|--------------------------------|-----|
| | 16) 重層的支援体制整備事業 | 17 |
| | ① 自立相談支援事業 | 17 |
| | ② 多機関協働支援事業 | 17 |
| | ③ 参加支援事業 | 17 |
| | ④ アウトリーチ支援事業 | 17 |
| | 17) 福祉サービス利用援助（あんしんサポートセンター）事業 | 18 |
| | 18) 成年後見事業 | 18 |
| | ① 市民後見推進事業 | 18 |
| | ② 法人後見事業 | 19 |
| | ③ 成年後見支援センター事業（中核機関） | 19 |
| | 19) 介護保険認定調査事業 | 19 |
| | 20) 放課後児童クラブ事業 | 20 |
| 5 | 多様な人材による地域活動の推進 | 20 |
| | 1) 住民参加型有償サービス事業（社協型） | 20 |
| | 2) 生活支援体制整備事業 | 20 |
| | 3) 中津市福祉の里づくりサポーター事業 | 21 |
| | 4) ファミリー・サポート・センター事業 | 21 |
| 6 | 福祉意識の高揚・啓発及び育成 | 22 |
| | 1) わいわい福祉ひろば事業 | 22 |
| | 2) 社協だよりの発行 | 22 |
| | 3) エリアの取組み | 22 |
| | 4) 事業所広報紙・新聞 | 23 |
| | 5) ホームページ | 23 |
| 7 | 法人組織体制の強化 | 23 |
| | 1) 職員配置状況 | 23 |
| | 2) 法人内部における会議・委員会 | 24 |
| 8 | 各種地域福祉事業 | 24 |
| | 1) 三光児童館事業 | 24 |
| 9 | ボランティア・市民活動の相談、啓発、育成 | 24 |
| | 1) ボランティア・市民活動センター事業 | 24 |
| | 2) ボランティア情報紙の発行 | 25 |
| | 3) ぼらかふえの開催 | 25 |
| | 4) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座の開催 | 25 |
| 10 | その他社協事業 | 26 |
| | 1) 福祉バス運行事業 | 26 |
| | 2) 災害見舞金支給事業 | 26 |
| | 3) 施設等管理運営事業 | 26 |
| 11 | 各種共催・後援状況、視察受入、協力 | 26 |
| | 1) 行事の共済及び後援状況 | 26 |
| | 2) 視察の受入れ、協力状況 | 26 |

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会

事業 総 括

2020年1月に中国から世界保健機構(WHO)に報告され世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当たり前にあった人と人との交流を遮断することが求められました。

コロナ禍では、感染予防の観点から見直しを余儀なくされていましたが、期せずして、つながり、支え合うことの意義や価値を再認識する機会にもなりました。

2023年5月から感染法上の分類が、季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。これにより、日常生活における制約がなくなり社会活動や経済活動が活性化し、コロナ前の状態に戻りつつあり、地域では人との交流の機会・場所が増えコロナ禍で開催を控えていたサロンなどが少しずつではありますが地域住民主体の活動が増えてまいりました。

今日の社会福祉を取り巻く環境は、急速な少子高齢化や本格的な人口減少、一人暮らしや高齢夫婦のみ世帯の増加などにより家族形態が変容し家族内の見守りや介護機能の低下、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が危惧されています。そのような中で、児童や高齢者、障害者等の虐待、社会的孤立や自殺、ニートやひきこもりの長期化・高齢化などの様々な福祉課題・生活課題が多様化・深刻化する中、生きづらさを抱えた人たちや相談窓口やサービスが用意されていても自ら相談にいたり利用手続きを行うことが難しい人、問題そのものを認識していなかったり解決をあきらめてしまう人など多くの課題が山積している中、関係機関と共に連携し各種事業の展開を進めてまいりました。

中津市社会福祉協議会では、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制では狭間のニーズへの対応が困難なため、中津市と社協がともに推進する「支援連携会議」の開催と包括的支援制度の構築に向けた取り組みとして「重層的支援会議」を民間の参加のもと開催してきました。

介護保険事業では、山間地域の事業継続と安定的なサービス提供を推進するため、事業所の再編成に取り組みサービスの質の向上と職員の資質向上に努めてまいりました。

また、人材確保では各種媒体を駆使して専門職を含め住民ニーズに対応する人材確保に努めました。

本会の令和5年度の事業は、社会情勢や住民ニーズに対応しつつ、一層の充実を図るとともに、法人運営の透明化及び組織強化を推進に努めました。

総務課

(1) 安定的な財源確保に向けた事業経営の推進

寄付金などの自主財源確保のための取り組みとして、ホームページやフェイスブック、広報紙等で随時更新を行い、社協の地域福祉活動への幅広い理解と協力を求めました。また、会計処理の制度改正に対応すべく、管理職及び会計担当者の研修会を実施し、適正な会計処理による事業経営の推進に努めました。

また、引き続き、介護職員処遇改善加算の申請を行い、介護職員への処遇改善の取組みを行うとともに、今後も予測される最低賃金改正等への対応を踏まえ、各種の財源確保及び自主財源確保に向けた具体的な取り組みについて検討を行っていきます。

(2) 人材確保のための積極的な取り組み

今年度も職員全員への管理職による面談や人事評価を行いながら、人員配置や採用計画の参考としました。また、ハローワーク、社協だより、エリアだより、ホームページ、エリアマガジン等への職員募集の掲載やネット求人、チラシのポスティング、職員紹介会社の活用により人材の確保に努めました。

本会全体で、34名の新規採用(正規14名、嘱託5名、非常勤15名)を行い、また、継続して続いていた特別養護老人ホームやすらぎ荘の人員不足について、介護職員4名と看護職員2名の雇用に繋がり、安定した介護サービスの体制整備を図ることが出来ました。

(3) デジタル技術を活用した業務効率改善(デジタル・トランスフォーメーション(DX))の調査研究

県のデジタルスキル向上支援事業クラウドサービス導入費用補助金を活用し、ウェブサーバーのDropboxの導入を行い、各課でのデータ共有による業務の効率化を図りました。また、データ管理がクラウド上で出来ることから、ペーパーレスや災害時におけるの活用についても整備を進めていく予定としています。

また、勤怠管理システム管理等の導入検討並びに各部署及び社協としての業務効率改善についての調査研究を進めていきます。

地域福祉課

(1) 多機関による包括的支援体制の構築

重層的支援体制整備事業のひとつである多機関協働事業では、庁内連携を基軸とした「支援連携会議」が2年目となり、7月の豪雨災害時を除き、1ヶ月1回の定着した開催ができました。また、R5年度に初めて開催した重層的支援会議では、社協・行政以外の民間(合同会社は・た・ら・け・る)の参加も実現し、多機関の幅が広がってきました。さらに「包括的支援体制」とそれを進める「重層的支援体制整備事業」を充実するために開催した『重層的支援体制整備事業研修会』では、支援連携会議参加部署だけでなく、市役所内の新たな部署や民間の子ども・障がい・高齢の支援機関にも呼びかけ、多機関で連携・協働する重要性に対する意識啓発の機会となりました。

(2)福祉ニーズに対応する社会参加支援体制の推進

参加支援事業では、働きづらさを抱えている人にとっての就労支援として行なっていますが、「働きづらさを抱えた人」の定義を、就労経験がないとかひきこもりがちな人に限らず、“体力もあるが高齢で年齢的に就労の場がなかなかない”、また、“子育て中でフルタイムで働けないため、なかなか地域社会との接点がないという方”なども含めて広く捉え、参加支援事業利用の拡大について検討しました。その具現化するきっかけづくりの場として「さんかくぶれいす」という場づくりをモデル的に開始しました。今後、人とひととがつながる居場所(プラットフォーム)として、R6 年度さらに進めます。

(3)住民参画の地域共生社会を推進する地域福祉基盤体制の構築

令和 4 年度末に作成した、「地域福祉ネットワーク協議会」に関する冊子を、協議会や地域の会議にて配布し、改めて、ネットワークの必要性と地域支え合いにつながることを伝えることに努めました。ネットワークの基本となる地域福祉人財の育成では、「子どもから高齢者までを対象とした読み聞かせ」をテーマにしたボランティア入門講座の開催や、活動の継続と定着への支援としてのボランティア養成講座を、男性や長年、グループやサロンで活動している人等を対象に行いました。また、昨年 7 月の豪雨災害と 1 月に起きた能登半島地震をテーマにした研修会を多様な立場の方に登壇いただき、開催したことで、非常時も含め、様々な人の協力で地域支え合いにつながることを伝える機会となりました。

(4)権利擁護支援体制の構築

「成年後見制度」「相続や遺言」また、「家族の支援が受けられない人への支援」など、生活していく上で大切な一人ひとりの意思の尊重やその支援体制をテーマに、成年後見セミナーや専門職向けの権利擁護支援のあり方についての研修会を開催しました。自身で権利を擁護することができにくくなった方への支援は、多職種で関わるケースが多く、それぞれの立場の強みを生かして支援をしていきますが、根底にある「その人自身の権利や強みの尊重」等、考え方の共有をしておくことの大切さを伝える機会となりました。

(5)総合相談支援体制の強化

山間地域での総合相談窓口である「地域包括支援センター」がコロナ禍以降、2ヶ所に分かれて業務を行なっていましたが、居宅支援事業所と同じ事務所内にまとまったことにより、高齢者の方への相談支援に対し、情報共有や協力体制が取りやすくなりました。また、「暮らしの総合相談窓口」での相談も、関係者で集まる機会をできるだけ作るように努めたり、支援連携会議での相談内容の共有等を通じて、多職種で関わることの意義や課題を抱えている本人や世帯の長所や得意なことが活かせる支援(エンパワメント)の大切さについて関係者で考える機会が増えました。

在宅福祉課

(1)山間地域への在宅サービスを継続的かつ安定的に行っていくための事業の再編

令和5年度は、今後山間地域における在宅サービスを安定的に継続していくために、下記のとおり大きな事業再編の年度となりました。今後も人口減少の進む山間地域において在宅サービスを継続していくにあたり、その態様に応じて都度協議しながら事業を推進していきます。

- ・令和5年4月 ケアプランセンター耶馬溪をケアプランセンター三光・本耶馬溪と統合
- ・令和5年11月 ヘルパーステーション本耶馬溪をヘルパーステーション耶馬溪と統合
- ・令和6年4月 デイサービスセンター三光をデイサービスセンター本耶馬溪と統合
同 訪問入浴サービスセンター三光を本耶馬溪町折元に移転
同 生きがい元気アップクラブ耶馬溪の事業内容を大きく変更(営業時間、昼食)

(2)災害時や感染症における、BCP(業務継続計画)の作成

令和5年度を策定元年とし、災害時のBCP作成について在宅関係部署によるコアメンバー会議を立ち上げ、事業所ごと(9か所)にワーキング会議を各4回ずつ行いました。

災害時における事業所の目的や、各々の職員がどう動くべきか等の整理を行うことで日頃からの災害意識の醸成につなげることができました。令和6年度からは事業所ごとに計画を基にした訓練を行いながら、日ごろから災害時や緊急時の備えを行っていきます。

(3)利用者様や家族に選んでいただける寄り添い型のサービス提供

寄り添い型のサービスを行う上で、職員同士の連携強化が挙げられており、各事業エリアで開催される会議での部門間の情報共有や専門職の部会や業務改善会議において、ご利用者様に満足いただけるサービスを提供するために何が必要なのかを職員同士で話し合い、サービス内容のブラッシュアップを常に行いました。

今後ご利用者様や家族により身近な存在として寄り添うことができるための、ひとり一人の意識向上やチームワーク等の連携向上を目指します。

福祉サービス課

(1)三光児童館を拠点とした地域の子育て支援の推進

三光児童館は、地域子育て支援拠点として、子育て中の親子が利用しやすいように絵本や玩具を準備したスペースを整備し、毎週木曜日(長期休暇を除く)には、「子育てひろば」にてイベントを開催しています。今年度のイベントでは、ハンドマッサージやヨガなど子育て中の保護者がゆっくり休める内容も取り入れました。また、コロナ渦で休止していました「ともだちひろば」(児童館のスタッフが山国・耶馬溪・本耶馬溪へ月1回ずつ公共施設に出向く“出張子育てひろば”)を9月から再開しました。

児童館の行事は、季節を感じたり、新しい体験ができる遊びを充実し、年間11,156名の利用がありました。地域の方やボランティアの参加は年間424名でした。

(2)多様に対応ができる放課後児童クラブ運営の推進

各児童クラブは、中津市の協力を得て、学校からの配信アプリを登録し、学校行事や下校時間、緊急連絡等保護者への連絡内容を把握し、対応しています。また、児童クラブからは、導入した配信サービスを利用し、災害時等緊急時の保護者への連絡事項を一斉に送信し、迅速に対応することができました。

児童支援員の資質向上の取り組みとしては、中津市主催の研修「パワーアップワークショップ」に延べ79名参加しました。今年度は、児童クラブの方針、支援目標、年度計画を作成し、来年度に向けての保護者説明会時に発表し、保護者に育成支援の内容を周知しました。こどもへの支援について、秣児童クラブにおいては、秣小学校との情報交換会を行い、より良い支援ができるように支援方法の確認や方向性の統一に努めました。

(3)生活支援ハウス・ホームで安心して生活できる支援の充実

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられた後も、職員の手指消毒、毎日の検温、外泊後の対策等、感染予防対策に取り組みました。中でも、レクリエーションの充実を図り、マイクロバスでの外出や定期的な買い物外出、移動販売の利用、運動会や敬老会等の季節の行事を行い、ご利用者に喜んでいただくことができました。

また、避難訓練は計画通りに行い、大雨時には早めの避難をしました。山国生活支援ハウスにおいては、令和5年7月の豪雨災害の際には、豪雨によって被災し、家屋に被害が出た方の受け入れを行い避難所としての機能を果たすことができました。

さらに、今年度は、災害等が発生した際に安定的・継続的にサービスを提供できるよう業務継続計画(BCP)を作成するため、職員全員での会議を重ね、完成しました。

養護老人ホーム 中津市豊寿園

(1) 地域生活における福祉的課題の発掘・支援を推進

令和5年度は入所者45人を目標に自治体や地域包括支援センター等、関係機関に対して広報活動を実施し地域に潜在している複合的課題を抱える高齢者の把握及び入所相談時には積極的に家庭訪問を行いました。しかし、残念ながら入所(措置)条件に該当せず入所者増とはなりませんでした。そこで制度の狭間にいる高齢者に対して施設の空き部屋を活用できる契約入所制度に関し具現化できるよう自治体と協議し施設利用者数増加の為の取り組みを行ってきました。

(2) 職員の知識・意識改革を推進

養護老人ホームの設備及び運営に関する基準に基づいた職員研修とその他の研修(人権学習、交通安全学習等)を年間計画により実施し、最新の知識を習得し、専門性を高めると同時に各部署での勉強会を通して個々のスキルアップに取り組みました。また、認知症介護基礎研修の義務化に伴い無資格者に対して受講機会を確保し認知症対応能力を向上させることができました。さらに日常の連携や情報共有を行うための朝礼や夕礼でのミーティングを通じて職員間のコミュニケーションを促進しました。また、「寄り添うところ」(社是)を毎朝確認し常に意識することで入所者支援の基本に立ち返り、

施設の方針やサービス提供の質を向上させるだけでなく、入所者や職員の満足度の向上に努めました。

(3) 課題解決に向けた多様なアプローチを推進

専門職からなる週1回のケース会議により入所者の処遇計画(課題克服の為の手段、スケジュール等)を策定し、個別支援を行いました。計画の適切性や効果の確認、関係者の意見を聴取しながら修正を定期的に行いました。また処遇計画について入所者または家族に説明し理解を求めながら支援にあたることで、家庭復帰や要介護者に対してはスムーズに他施設に移行する事例を作ることができました。特に住む家がなくなるとの理由でショートステイを受入れした際には自治体や地域包括支援センター等、関係者に支援経過の報告・相談しながら対応を行ったことで異なる視点や知識を取り入れることができ、効果的な支援につながりました。

(4) 地域における公益的な取り組み＝地域との“つながり”を推進

新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、感染リスクを最小限に抑えながら各種行事や地域交流活動を増やす取り組みを強化しました。具体的には地域貢献・社会貢献活動の強化、慰問の受入れ、地域行事への参画及び地域の福祉施設との連携を深め、入所者の社会参加を支援してまいりました。なかでも社会貢献活動においては、地域の清掃活動や野菜販売活動及び石川県能登半島地震被災者支援として道の駅なかつでの街頭募金、社会貢献活動益金から石川県で被災した高齢者施設への段ボールベッドの物資運搬等、地域社会への貢献を意識した取り組みを行いました。また、自然災害への備えとしてBCP(業務継続計画)を策定し、有事の際の相互協力体制の構築を目的として他施設との合同避難訓練・福祉避難所訓練を実施しました。

中津市特別養護老人ホーム やすらぎ荘

(1) 健全で安定的な経営の推進

令和5年度は、指定管理の受託を受けて以来初の赤字決算となりました。主な要因として職員不足やコロナ感染等により入所者の入荘制限や退荘から次の入荘までの期間がかかり過ぎによる稼働率低下、また、物価高騰により経費もかさみました。今後は、地域の福祉ニーズに応えるサービスの質と量の維持向上を図るため、積極的に業務の効率化など多岐にわたるコスト削減方法を模索し、職員のコスト意識を高め、経費節減に努めます。

(2) 感染症・食中毒予防及び入所者・職員の健康管理の推進

職員の資質向上を目的として、感染症・食中毒予防研修会を2回豊寿園と共同で開催しました。施設系サービスにおいては利用者が集団で生活する場であり、その特性を踏まえた対応が重要であると考え、感染対策を徹底し、感染症の発生をなくすことが目標ではありますが、12月にインフルエンザによる集団感染、12月から3月にかけてコロナ感染によるクラスターが3回発生しました。職員の毎日の検温、少しでも気になる症状があれば積極的に抗原検査の実施を行い、また、入所者についても嘱託医が適宜抗原検査を実施することで職員が安心して業務に取り組むことが出来ました。

日々の取組では職員の腰痛による休職、転倒による骨折が重なったことにより、朝礼時に腰痛予防、転倒予防体操を行っています。

(3) 地域とのつながりを推進し開かれた施設を目指す

やすらぎ荘近隣の人口減少、住民の高齢化による地域のつながりの希薄化も深刻になってきています。今年度もコロナウイルス感染症の影響で施設のイベントが中止や、規模を縮小し施設だけでの開催となり、地域との交流ができていないのが現状です。そのような中、6月に地域グループアカデミアによるやすらぎ荘敷地内清掃活動、10月に下郷保育所園児29人が屋外で歌や踊りによる慰問、12月に家族会による施設外回りの清掃活動、また、年末には耶馬溪ライオンズクラブにより門松の製作をしていただきました。

(4) 人材不足解消に向けた取組の推進

慢性的な人材不足の解消するため、初の試みとして人材紹介を利用して、介護職員、看護職員を採用しました。また、前年に引き続き特定技能1号の外国人を採用しました。

令和6年4月から給食事業直営化に伴い職員募集のチラシを各家庭(耶馬溪地域、山国地域、本耶馬溪地域)にポスティングを行うことで数名の採用することが出来ました。今後も他者との差別化を図りながら職員募集を行い人材不足の解消に努めます。

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催。
提案された議案については、原案どおりすべて承認。

1) 理事会

第1回 令和5年4月1日(土) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 13名 欠席 3名 監事出席 2名
第1号議案 常務理事の選任について
第2号議案 規程の変更について

第2回 令和5年6月2日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 11名 欠席 5名 監事出席 2名
第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和4年度決算報告について(監査報告)
第3号議案 令和5年度第1次補正予算について
第4号議案 評議員候補者の推薦について
第5号議案 評議員会の招集について
報告 職務執行報告について

第3回 令和5年6月23日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 13名 欠席 3名 監事出席 2名
第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選任について
第2号議案 評議員選任・解任委員の選任について

第4回 令和5年11月2日(木) 13時50分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 12名 欠席 4名 監事出席 2名
第1号議案 令和5年度第2次補正予算について
第2号議案 就業規則の変更について
第3号議案 評議員会の招集について
報告 職務執行報告について

第5回 令和6年3月11日(月) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 14名 欠席 2名 監事出席 1名 欠席 1名
第1号議案 令和5年度第3次補正予算について
第2号議案 令和6年度事業計画について
第3号議案 令和6年度当初予算について
第4号議案 規程の変更及び追加について
第5号議案 役員等賠償責任保険契約について
第6号議案 評議員会の招集について
報告 職務執行報告について

2) 評議員会

第1回 令和5年6月22日(木) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 26名 欠席 7名 監事出席 1名 欠席 1名
第1号議案 令和4年度事業報告について
第2号議案 令和4年度決算報告について(監査報告)
第3号議案 令和5年度第1次補正予算について
第4号議案 役員を選任について

第2回 令和5年11月14日(火) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 27名 欠席 6名 監事出席 1名 欠席 1名
第1号議案 令和5年度第2次補正予算について

第3回 令和6年3月21日(木) 10時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 24名 欠席 9名 監事出席 1名 欠席 1名
第1号議案 令和5年度第3次補正予算について
第2号議案 令和6年度事業計画について
第3号議案 令和6年度当初予算について
第4号議案 理事、監事の変更について

3) 監査会

令和5年5月23日(火) 9時00分 中津市教育福祉センター 中会議室A・B
結果:事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

1) 会費 (会員)

| | | |
|------|--------|------------|
| 一般会費 | 4,326口 | 2,176,000円 |
| 特別会費 | 104口 | 520,000円 |
| 合計 | 4,430口 | 2,696,000円 |

| 地区 | 一般会費 | | 特別会費 | |
|------|--------|------------|------|----------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 中津 | — | — | 104口 | 520,000円 |
| 三光 | 1,501口 | 750,500円 | 0口 | 0円 |
| 本耶馬溪 | 925口 | 462,500円 | 0口 | 0円 |
| 耶馬溪 | 1,166口 | 590,500円 | 0口 | 0円 |
| 山国 | 734口 | 372,500円 | 0口 | 0円 |
| 計 | 4,326口 | 2,176,000円 | 104口 | 520,000円 |

2) 寄付金

| | | |
|-------|------|------------|
| 香典返し | 210件 | 7,303,000円 |
| 一般寄附 | 76件 | 1,180,324円 |
| 災害支援金 | 5件 | 391,803円 |
| 合計 | 291件 | 8,875,127円 |

| 地区 | 香典返し | | 一般寄附 | | 災害支援金 | |
|------|------|------------|------|------------|-------|----------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 中津 | 83件 | 2,300,000円 | 56件 | 611,462円 | 5件 | 391,803円 |
| 三光 | 26件 | 620,000円 | 1件 | 20,000円 | | |
| 本耶馬溪 | 19件 | 560,000円 | 4件 | 42,366円 | | |
| 耶馬溪 | 38件 | 1,943,000円 | 4件 | 281,596円 | | |
| 山国 | 44件 | 1,880,000円 | 11件 | 224,900円 | | |
| 計 | 210件 | 7,303,000円 | 76件 | 1,180,324円 | | |

3) 物品寄付

| | | |
|-----------------------------|----|------------|
| ギフトカード | 1台 | 20,600円 |
| 車いす | 2台 | 128,900円 |
| 日用品等 | 7件 | 11,550円 |
| 車輛 (セレナ：中外製薬、訪問入浴車：24時間テレビ) | 2台 | 9,064,960円 |

物品寄付額 (相当額) 12件 9,226,010円

4) 中津市共同募金委員会への協力

| | | |
|-----------|---------|-------------|
| 赤い羽根共同募金 | 19,096件 | 8,170,551円 |
| 歳末たすけあい募金 | 19,572件 | 5,757,194円 |
| 合計 | 38,668件 | 13,927,745円 |

| 募金種類 | 赤い羽根共同募金 | | 歳末たすけあい募金 | |
|--------|----------|------------|-----------|------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 戸別募金 | 19,090件 | 8,004,925円 | 19,024件 | 3,418,665円 |
| 街頭募金 | 0件 | 0円 | 1件 | 6,612円 |
| 法人募金 | 1件 | 20,390円 | 518件 | 2,088,380円 |
| 職域募金 | 3件 | 137,788円 | 0件 | 0円 |
| イベント募金 | 0件 | 0円 | 2件 | 8,878円 |
| その他募金 | 1件 | 7,444円 | 27件 | 234,659円 |
| 預金利息 | 1件 | 4円 | 0件 | |
| 計 | 19,096件 | 8,170,551円 | 19,572件 | 5,757,194円 |

[戸別募金内訳]

| 地区 | 赤い羽根共同募金 | | 歳末たすけあい募金 | |
|-------|----------|------------|-----------|------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 旧中津市内 | 14,867件 | 6,231,535円 | 14,795件 | 2,657,695円 |
| 三光 | 1,444件 | 606,420円 | 1,449件 | 260,660円 |
| 本耶馬溪 | 890件 | 373,800円 | 891件 | 160,380円 |
| 耶馬溪 | 1,148件 | 481,950円 | 1,148件 | 206,550円 |
| 山国 | 741件 | 311,220円 | 741件 | 133,380円 |
| 計 | 19,090件 | 8,004,925円 | 19,024件 | 3,418,665円 |

- ・大分グルメ散歩募金 (大分県共同募金会事業) 97,658円の売上げがあり、その内20,390円を募金協力として頂きました。
- ・期間外募金39,071円 (自動販売機手数料：39,063円、銀行利息：8円) については、R6年度計上。

5) 中津市共同募金委員会への協力 (災害義援金)

| | |
|--------------|----------|
| ・能登半島地震災害義援金 | 467,683円 |
| ・能登半島地震災害支援金 | 33,670円 |
| 合計 | 501,353円 |

3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

1) 寄り合いの場支援

住民が主体的に、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている場づくりを支援

| | | |
|---------|------|---|
| 中津市全体 | 89カ所 | 寄り合いの場の種類・説明 |
| 地域サロン | 6カ所 | 地域の中の民家や空き家等を活用して主体的な拠点を整備し、開催回数も週1～1.2回で、日常生活に密着した寄り合いの場 |
| 広域型サロン | 6カ所 | 小・中学校区の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」 |
| いきいきサロン | 77カ所 | 自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、月1.1回程度住民同士の交流の場として実施 |

※R5年度 新規寄り合いの場：いきいきサロン1ヶ所（月曜ランチ会、持田いきいきサロン）

2) ネットワーク構築支援

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況（地区内の地域福祉推進活動）

| No. | 校区 地区 | 組織名称（校区ネット） | 発足 年月日 | 定例会 | 事務局会議等 | 令和5年度の主な動き | 助成 金 |
|-----|----------|----------------------------------|----------------------|-----|--------|---|---------|
| 1 | 南部 | 南部地区ネットワーク協議会ばけっと | H18.10 ↓ H24.4 | 年3回 | 毎月1回 | ・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 | ○ |
| 2 | 北部 | 北部地域福祉ネットワーク協議会（3つの「わ」ネット） | R4.3 | 年4回 | 毎月1回 | ・情報誌の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・グループ活動の推進 | ○ |
| 3 | 小楠 | 小楠校区地域福祉ネットワーク協議会「OGUSU 友愛 2017」 | H29.12 | 年4回 | 毎月1回 | ・情報誌の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・部会長会議の開催・部会活動の推進 ・外国人との交流イベント開催 | ○ |
| 4 | 豊田 | 「生き生き・豊田」 | H22.12 | 年1回 | - | ・総会の開催・遊びの広場（交流行事）の開催※公民館と共催 | ○ |
| 5 | 沖代 | 沖代校区ネットワーク協議会 | H18.9 ↓ H21.4 | 年3回 | 毎月1回 | ・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・防災に関する研修会開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 | ○ |
| 6 | 大幡 | 大幡福祉の会“輪” | H20.1 | - | - | ・第4次地域福祉活動計画策定を期に、事務局メンバーの交代を行う。令和5年度は前年度より引き続き、組織再編を中心に活動。 | - |
| 7 | 三光 | ふくしの里“ややま” | H31.3 | 年3回 | 毎月1回 | ・情報紙の発行・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・部会活動の推進・認知症に関する研修会の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 | ○ |
| 8 | 山国 | 源流の郷やまくに福祉の会 | H22.10 | 年1回 | 年2回 | ・総会及び定例会の開催・事務局会議の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 | - |

○見守りネットワークの組織状況（地区内の地域福祉推進活動）

| No. | 校区 地区 | 名称 | 発足開始 年月日 | 全体会 | 見守りネットワーク数 | 令和5年度の主な動き | 助成 金 |
|-----|----------|--------------------|-------------|-----|-----------------------|--|---------|
| 1 | 本耶馬溪 | 本耶馬溪町ふれ愛ネットワーク | H6.5 | 随時 | 17 (自治区単位で構成) | ・役員会の開催（9月） ・推進会議の開催（4月、10月） ・合同研修会の開催（12月） | ○ |
| 2 | 耶馬溪 | 耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会 | H23.5 | 随時 | 12 (79自治区を12団体で構成) | ・役員会の開催（6月、1月） ・合同会議の開催（7月、2月） | ○ |
| 3 | 山国 | 山国地区見守りネットワーク | R2.4 | 無 | ※自治区で協議の上、団体を構成 6 | ・現在、6団体が活動 （宇曾元・大勢見守りネットワーク 見守りネットワーク「HARUDA」 くさもと見守りネットワーク 肥前屋見守りネットワーク 見守りネットワークFUJINOKI（※R4新規） 見守りネットワークこやがわ（※R5新規） ・連絡会の開催（R6.2月） | ○ |

3) 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画 進捗確認の座談会

令和4年度より第4次地域福祉活動計画1年目の評価を、評価シートを使用し各地区にて実施。令和4年度は地域福祉ネットワーク協議会がある地区を中心に行い、令和5年度はネットワーク協議会が無い地区に対しても働きかけを行い実施。

| | 地区名 | 対象 | 実施月 |
|----|------|-------------------------|-----|
| 1 | 北部 | 北部地区地域福祉ネットワーク協議会定例会参加者 | 8月 |
| 2 | 豊田 | 作業部会員 | 8月 |
| 3 | 鶴居 | 作業部会員 | 8月 |
| 4 | 沖代 | 沖代地区ネットワーク協議会総会・定例会参加者 | 5月 |
| 5 | 如水 | 作業部会員 | 7月 |
| 6 | 大幡 | 作業部会員 ※開催するも評価未実施 | 7月 |
| 7 | 三保 | 作業部会員 | 7月 |
| 8 | 和田 | 作業部会員 | 7月 |
| 9 | 今津 | 作業部会員 | 8月 |
| 10 | 本耶馬溪 | 作業部会員 | 8月 |
| 11 | 耶馬溪 | 見守りネットワーク推進会議参加者及び作業部会員 | 7月 |

4) 各種団体等助成金

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成

| 区 分 | 0 | 助成額 | 助成内容 |
|----------------------|------|-------------|--|
| 小地域福祉活動助成(市) | 35件 | 1,680,000円 | 見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成 |
| 小地域福祉活動助成(社協会費) | 29件 | 631,200円 | 見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成 |
| 地域福祉推進活動助成(市) | 6件 | 422,000円 | 地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成 |
| 地域福祉推進活動助成(歳末) | 5件 | 240,000円 | 地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成 |
| 地域介護予防活動支援費助成(市) | 6件 | 203,000円 | 介護予防につながる「交流」「食事」などの機会を継続的に実施している住民主体の活動(寄り合いの場)への助成 |
| ボランティア活動助成(共募) | 42件 | 1,232,100円 | 会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成 |
| ボランティア推進校助成(共募) | 9件 | 270,000円 | 小中高等学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成 |
| 寄り合いの場活動助成(共募・共募) | 78件 | 1,207,780円 | 地域の寄り合いの場(地域サロン等)への活動助成 |
| 新規立ち上げ活動助成(歳末) | 2件 | 60,000円 | 地域の寄り合いの場や地域福祉ネットワーク協議会)への活動助成 |
| 寄り合いの場活動助成(社協会費) | 58件 | 1,758,253円 | 地域の寄り合いの場(地域サロン等)への活動助成(三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国) |
| 住民型有償サービス活動助成(共募・歳末) | 10件 | 1,280,560円 | 住民主体の在宅福祉サービス(家事援助・身体介護等)団体への活動助成 |
| 一般公募助成(共募) | 5件 | 650,000円 | 高齢者・障がい者(児)・子ども・防災など事業への助成(1団体上限34万円) |
| 見守り配食活動助成(社協会費) | 2件 | 54,427円 | 一人暮らし高齢者等への配食サービスを行う団体への活動助成(民児協本耶馬溪、山国) |
| 公民館助成(寄付金) | 14件 | 210,000円 | 校区(地区)公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成 |
| 民生委員児童委員活動助成(寄付金) | 15件 | 1,014,934円 | 共同募金(企業募金)実績に基づき助成 |
| 自治委員活動助成(寄付金) | 15件 | 1,735,325円 | 共同募金と歳末たすけあい募金(戸別)実績に基づき助成 |
| 合 計 | 331件 | 12,649,579円 | |

4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービス及び訪問入浴サービスを実施

① 居宅介護事業(家事援助)

実利用者数 7名 延利用回数 463回 延活動時間数 469時間

| | | | | | |
|------|----|------|------|------|-------|
| 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — |
| 耶馬溪 | 7名 | 耶馬溪 | 463回 | 耶馬溪 | 469時間 |

(障害区分: 身体2名、精神4名、知的1名)

② 居宅介護事業(通院等介助)

実利用者数 2名 延利用回数 15回 延活動時間数 31.0時間

| | | | | | |
|------|----|------|-----|------|--------|
| 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — |
| 耶馬溪 | 2名 | 耶馬溪 | 15回 | 耶馬溪 | 31.0時間 |

(障害区分: 精神1名、身体1名)

③ 同行援護事業

実利用者数 7名 延利用回数 189回 延活動時間数 215.5時間

| | | | | | |
|------|----|------|------|------|---------|
| 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — |
| 耶馬溪 | 7名 | 耶馬溪 | 189回 | 耶馬溪 | 215.5時間 |

(障害区分: 身体 7名)

④ 障がい児・者訪問入浴サービス事業(中津市内で一事業所のみ) (市受託事業)

実利用者数 なし 延利用回数 なし

2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス(市受託事業)

実利用者数 7回 延利用回数 118回 延活動時間数 281時間

| | | | | | |
|------|----|------|------|------|-------|
| 本耶馬溪 | 7名 | 本耶馬溪 | 118回 | 本耶馬溪 | 281時間 |
|------|----|------|------|------|-------|

(障害区分: 視覚1名、知的4名、精神1名)

3) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく) (市受託事業)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業

①-1 実施状況

| | | | |
|------|-------|------|----------------|
| 開催回数 | 実利用者数 | 専任職員 | |
| 12回 | 24名 | 3名 | ※令和5年度新規利用者 3名 |

①-2 通常開催詳細(延べ)

| | | | |
|------|--------|------|--------|
| 利用者数 | きょうだい児 | 保護者 | ボランティア |
| 136名 | 40名 | 112名 | 1名 |

①-3 てくてくカフェ ※令和5年度より新規(親同士の交流の場)

| | |
|------|-------|
| 開催回数 | 延参加者数 |
| 3回 | 15名 |

②-1 Summer てくてく実施状況（夏休み中の臨時開催）

| 開催回数 | 実利用者数 | 専任職員 |
|------|-------|------|
| 1回 | 14人 | 3回 |

②-2 Summerてくてく参加状況（延べ）

| 利用者数 | きょうだい児 | 保護者 | ボランティア |
|------|--------|-----|--------|
| 6名 | 1名 | 7名 | 1名 |

4) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音）

障がいのある方とボランティアがお互いを理解し尊重しながら、共に地域の住民として交流できる場を当事者主体を前提にボランティアと共に運営。当事者の意志を最も重要とし、障がいのある方自身の自立と自主性の支援を目的に開催。

| 開催日 | 開催回数 | 利用者数 | ボランティア数 | 内容 | |
|------|------|------|---------|-----|-------------------------------|
| 第3水曜 | 11回 | 実数 | 7名 | 実数 | 料理・野外研修、講座、芸術鑑賞など お休み月（8月） |
| | | 延べ数 | 63名 | 延べ数 | |

5) 障がい者等生活環境整備事業

住環境により福祉サービスを利用できない等社会生活に支障が出ている障がいのある人やその世帯に対する片付け支援事業。

| 支援件数 | 利用世帯人員 | 地区 | 支援内容 |
|------|-------------------|-------------------|--|
| 3件 | ①1人 ②2人 ③3人 | ①北部 ②小楠 ③豊田 | ①市・包括と事前調査後、片付け ②事前訪問、支援者会議の後、片付け ③支援者会議、事前訪問後、片付け |

6) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品（介護用品）を贈呈。

（校区）

| | | | | | |
|----|-----|----|-----|------|------|
| 南部 | 7件 | 大幡 | 10件 | 本耶馬溪 | 3件 |
| 北部 | 20件 | 如水 | 1件 | 耶馬溪 | 6件 |
| 豊田 | 2件 | 三保 | 1件 | 山国 | 0件 |
| 沖代 | 7件 | 和田 | 0件 | | |
| 小楠 | 5件 | 今津 | 14件 | | |
| 鶴居 | 7件 | 三光 | 18件 | | |
| | | | | 合計 | 101件 |

7) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸出し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

| | |
|-------|------|
| ・貸出総数 | 158台 |
| ・保有台数 | 163台 |
| ※内廃棄数 | 8台 |

貸出対応件数

| | |
|------|-----|
| 中津 | 14件 |
| 三光 | 7件 |
| 本耶馬溪 | 5件 |
| 耶馬溪 | 10件 |
| 山国 | 5件 |

計 41件

【車椅子】

| | |
|-------|------|
| ・貸出総数 | 109台 |
| ・保有台数 | 162台 |
| ※内廃棄数 | 3台 |

貸出対応件数

| | |
|------|------|
| 中津 | 109件 |
| 三光 | 15件 |
| 本耶馬溪 | 10件 |
| 耶馬溪 | 13件 |
| 山国 | 9件 |

計 156件

8) 福祉啓発イベント

～こころ豊かに こころ育てる～

令和4年度より「シン・みんなのふくしまつり」と題し、コロナが5類移行後初の開催となる。子どもから高齢の方まで、どなたでも楽しめるよう、地域の方々にも多数参加いただき開催。

| イベント名 | 開催日 | 参加者数 | 内容 |
|--------------------------------------|-------|-------|--|
| シン・みんなのふくしまつり 「～WAKUWAKUday2023～」 | 11月5日 | 約700名 | <ul style="list-style-type: none"> まつりテーマ「育」 ワークショップ（手形アート・木工教室・ドライフラワーアレンジメント） バリアフリー縁日（めだかすくい、ヨーヨー釣り、射的） 中茶会（イントロクイズ、風船パレー） ヴァイオリン演奏、参加型ダンス教室 おもちゃ病院によるおもちゃ修理、バルーンアート、男塾のコーヒーふるまい 地域サロンによるバザー キッチンカーや東九州龍谷高校によるお弁当販売 |

9) 介護保険事業

①介護老人福祉施設事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

65歳以上で身体や精神上の障がいのため常時介護を必要とし、在宅での介護が困難な人が対象の事業。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアを提供

（本入所）・・・定員 80名

| サービス実施状況 | 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | 実人数 | | 76名 | 75名 | 77名 | 74名 | 77名 | 74名 | 76名 | 74名 | 77名 | 75名 | 76名 | 78名 |
| 延べ人数 | | 2,259名 | 2,312名 | 2,183名 | 2,301名 | 2,359名 | 2,264名 | 2,249名 | 2,254名 | 2,373名 | 2,330名 | 2,121名 | 2,211名 | 27,216名 |

②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために短期間の施設利用。食事や入浴、排せつなど日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどを提供

（短期入所）・・・定員 20名

| サービス実施状況 | 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| | 実人数 | | 21名 | 24名 | 17名 | 21名 | 11名 | 12名 | 13名 | 15名 | 15名 | 10名 | 15名 | 16名 |
| 延べ人数 | | 362名 | 386名 | 380名 | 344名 | 329名 | 269名 | 281名 | 291名 | 298名 | 261名 | 281名 | 259名 | 3,741名 |

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数 99名 延利用回数 8,995回

| | | | |
|------|-----|------|--------|
| 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — |
| 耶馬溪 | 99名 | 耶馬溪 | 8,995回 |

④訪問型サービスA

比較的介護度が低い方（要支援1、2及び介護予防事業対象者）に対し、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数 11名 延利用回数 125回

| | | | |
|------|-----|------|------|
| 本耶馬溪 | — | 本耶馬溪 | — |
| 耶馬溪 | 11名 | 耶馬溪 | 125回 |

⑤通所介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

（通常型）開設日数 1,172日 日/年 延利用人数 20,506名 平均利用者数 17.5名

| | | | | | |
|------|------|------|--------|------|-------|
| 三光 | 271日 | 三光 | 2,638名 | 三光 | 9.7名 |
| 本耶馬溪 | 300日 | 本耶馬溪 | 5,205名 | 本耶馬溪 | 17.4名 |
| 耶馬溪 | 299日 | 耶馬溪 | 7,049名 | 耶馬溪 | 23.6名 |
| 山国 | 302日 | 山国 | 5,614名 | 山国 | 18.6名 |

⑥通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ）

サービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

（緩和型）開設日数 254日 日/年 延利用人数 1,416名 平均利用者数 5.6名

| | | | | | |
|-----|------|-----|--------|-----|------|
| 耶馬溪 | 254日 | 耶馬溪 | 1,416名 | 耶馬溪 | 5.6名 |
|-----|------|-----|--------|-----|------|

⑦訪問入浴介護事業

要支援者に対して、訪問入浴サービスを実施（中津市内で一事業所のみ）

実利用者数 18名 延利用回数 294回

⑧居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 4,628件 件/年

| | |
|------|--------|
| 本耶馬溪 | 3,327件 |
| 耶馬溪 | — |
| 山国 | 1,301件 |

10) 高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

| 入居者数（内ショート利用者） | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|--|
| 施設名/月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
| 耶馬溪生活支援ホーム | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 9名 | 9名 | 10名 | 8名 | 8名 | — | |
| 延べ利用者数 | 300名 | 285名 | 273名 | 283名 | 306名 | 300名 | 302名 | 270名 | 279名 | 282名 | 232名 | 248名 | 3360名 | |
| 山国生活支援ハウス | 12名 | 12名 | 14名 | 19名 | 17名 | 16名 | 13名 | 14名 | 14名 | 12名 | 12名 | 13名 | — | |
| 延べ利用者数 | 337名 | 364名 | 382名 | 487名 | 411名 | 386名 | 403名 | 415名 | 416名 | 372名 | 348名 | 377名 | 4698名 | |

1 1) 老人福祉施設養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業（養護老人ホーム中津市豊寿園）

経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設。地域福祉を推進する社協として地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進

| 年間在所状況 | 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-----|
| 日数 | | 30日 | 31日 | 30日 | 31日 | 31日 | 30日 | 31日 | 30日 | 31日 | 31日 | 29日 | 31日 | 366日 | |
| 入所者実数 | | 42名 | 43名 | 43名 | 41名 | 41名 | 39名 | 40名 | 40名 | 39名 | 38名 | 39名 | 38名 | — | |
| 延べ人数 | | 1,257名 | 1,290名 | 1,164名 | 1,220名 | 1,208名 | 1,163名 | 1,183名 | 1,146名 | 1,145名 | 1,120名 | 1,076名 | 1,101名 | 14,073名 | |
| 年間異動状況 | 新規 | 他施設 | | | | | | | | | | | 1名 | 1名 | |
| | | 医療機関 | | | | | | | | | 1名 | | | 1名 | |
| | | 在宅 | 1名 | | | | | 1名 | | | | | | 1名 | 3名 |
| | | その他 | | | | | | | | | | | | | 0名 |
| | 退所 | 社会復帰 | | | | | | | | | | | | | 0名 |
| | | 家庭復帰 | | | | | | | | | | | 1名 | | 1名 |
| | | 医療機関 | | | | 1名 | | 1名 | | | 1名 | | | | 3名 |
| | | 他施設 | | | | 1名 | | | | | | | | | 1名 |
| | 入退院(外泊) | 入院(外泊出) | 1名 | 1名 | 5名 | 3名 | 6名 | 2名 | 3名 | 4名 | 2名 | 2名 | 4名 | 3名 | 36名 |
| | | 退院(外泊戻) | | 1名 | 3名 | 5名 | 5名 | | 2名 | 4名 | | 4名 | 3名 | 2名 | 29名 |

1 2) 地域包括支援センター事業

令和5年10月から、事業の主たる拠点を本耶馬溪（市本耶馬溪支所）に変更し、三光から山国のエリアを担当している。それに伴い、新型コロナウイルス感染症対策として、本耶馬溪に設置していたサテライト事務所は閉鎖している。

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

| | |
|------|--------|
| 相談件数 | 1,306件 |
|------|--------|

② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

| | |
|------|-----|
| 対応件数 | 38件 |
|------|-----|

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

| | |
|---------------------------|-----|
| ・ 包括的・継続的なケア体制の構築 | 22回 |
| ・ 地域における介護支援専門員のネットワークの活用 | 27回 |
| ・ 日常的個別指導・相談 | 25回 |
| ・ 支援困難事例等への指導・助言 | 18回 |
| 合計 | 92回 |

(2) 介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○ 介護予防に関する講話、講演会、相談会

| | |
|------|------|
| 実施回数 | 10回 |
| 参加者数 | 155名 |

○ 個別対応による普及啓発

| | |
|------|------|
| 実施回数 | 55回 |
| 人数 | 142名 |

(3) 各種調査業務

| | |
|-------------------------|-----|
| ① 「食」の自立支援事業実態調査 調査件数 | 20件 |
| ② 住宅改修理由書作成 | 10件 |
| ③ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談 | 6件 |
| ④ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談 | 0件 |

(4) 介護予防支援（計画作成）業務

| | | |
|--------------------------------------|------|--------|
| 要支援1.2、事業対象者の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務 | 相談件数 | 5,113件 |
| | 作成件数 | 2,161件 |

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

① 相談件数（分類）

| 全件数 | 内訳 |
|-----|--------------------------|
| 90件 | 医療 89件、介護 1件、住民 0件、行政 0件 |

②会議等への参加

| | |
|----------------|-----------|
| 在宅医療・介護連携推進協議会 | 普及啓発ワーキング |
| 2回 | 4回 |

(6) 「元気！いきいき☆週一体操教室」立ち上げ継続支援事業

| | | |
|--------------|--------------|------------|
| 立ち上げに関する相談支援 | 立ち上げに関わった組織数 | パンフレット等の配布 |
| 5回 | 2ヶ所 | 151人 |

13) 認知症地域支援推進事業

平成27年度からの委託事業。地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

(1) 人員配置

- ・ 認知症地域支援推進員 1名
- ・ 嘱託医 1名
- ・ オレンジコーディネーター 1名

(2) 会議・研修会参加

| | |
|----------------------|-----|
| 認知症地域支援推進員等連絡会議（県主催） | 4回 |
| 物忘れ対応支援チーム員会議 | 12回 |
| 認知症初期集中支援チーム検討委員会 | 1回 |
| 認知症の人と家族の会中津支部集い | 11回 |

(3) 認知症支援、普及啓発に関する各種取組

①普及啓発活動

- ・ 広く住民に対する理解促進

| 項目 | 回数 | 参加者数 | 説明 |
|---------------|-----|------|----------------------|
| 認知症サポーター養成講座 | 0回 | | 豪雨災害の為中止となった。 |
| 認知症講演会 | 0回 | | 講師調整がつかず中止 |
| 認知症講話 | 11回 | 143名 | サロン等にて認知症予防体操。 |
| 世界アルツハイマー月間活動 | 1回 | - | ゆめタウン中津にて、リーフレットの配布。 |

②SOS声かけ模擬訓練

| 項目 | 開催日・場所 | 参加者数 |
|-------------------------|-----------------|------|
| SOS声かけ捜索模擬訓練（コロナ禍以降初再開） | 令和6年3月17日（日）耶馬溪 | 81名 |

③オレンジカフェ

- ・ 認知症の方、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

| 地区 | 三光 | 本耶馬溪 | 耶馬溪 | 山国 | 合計 |
|----------|-----|------|-----|-----|------|
| 開催回数 | 3回 | 3回 | 3回 | 2回 | 11回 |
| 参加者数（延べ） | 69名 | 37名 | 44名 | 25名 | 175名 |

ストリートオレンジカフェみなと

認知症の方やその家族、認知症に関心のある方、また移動手段、外に出る機会が少ない方々の地域へ向かい、認知症についての相談や気分転換を図れる機会を作る。場所を定めず、開催することが可能となる。なお、屋外で開催するため、密を防止、感染リスクを低減できる。

| 開催場所 | 三光 | 本耶馬溪 | 耶馬溪 | 山国 | 合計 |
|----------|-----|------|-----|-----|------|
| 実施箇所（延べ） | 3ヶ所 | 1ヶ所 | 5ヶ所 | 1ヶ所 | 10ヶ所 |
| 参加者数（延べ） | 52名 | 13名 | 66名 | 13名 | 144名 |

④認知症家族介護者の集い

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。

| | |
|------|-----|
| 開催回数 | 1回 |
| 参加人数 | 11人 |

⑤認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

参加対象者：三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等

| | | |
|------|------|--|
| 開催回数 | 4回 | ・ 三光『治療から進行予防』 ・ 本耶馬溪『医師（80歳）診療の思い出』 ・ 耶馬溪『アルツハイマー型認知症を学びましょう』 ・ 山国『心疾患と認知症の関係』 |
| 参加人数 | 337名 | |

14) 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。生活資金が必要な方が多く、緊急小口資金の申請が多くなる傾向です。令和4年9月末をもってコロナ特例貸付は終了。

| 資金種類 | | 相談延件数 | 申請件数 | 決定 | 決定金額 |
|------------|-------------------|-------|------|----|------------|
| 総合支援資金 | 生活支援費 | 2 | 0 | 0 | 0円 |
| | 住居入居費 | 0 | 0 | 0 | 0円 |
| | 一時生活再建費 | 0 | 0 | 0 | 0円 |
| 福祉資金 | 福祉費 | 19 | 6 | 5 | 778,000円 |
| | 緊急小口資金 | 132 | 33 | 29 | 2,759,000円 |
| 教育支援資金 | 教育支援費 | 3 | 1 | 1 | 152,000円 |
| | 就学支度費 | 5 | 3 | 3 | 627,000円 |
| 不動産担保型生活資金 | 不動産担保型生活資金 | 0 | 0 | 0 | 0円 |
| | 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 | 2 | 0 | 0 | 0円 |
| 臨時特例つなぎ資金 | | 7 | 0 | 0 | 0円 |
| 合 計 | | 170 | 43 | 38 | 4,316,000円 |

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

(2) 特例貸付みまもり支援

償還猶予者に対して、支援が必要と考えられる借受人に対し、生活再建に向けたみまもり支援を行う事業。見守り支援では、借受人の状況を確認し、免除等にあたる方へ書類作成の支援や家計収支バランスの見直し、自立相談支援機関との連携により、生活再建を図る。

| | |
|---------|-----|
| 見守り支援件数 | 60件 |
|---------|-----|

15) 生活困窮者自立促進支援事業

(1) 家計改善支援事業

家計のバランスに不具合がおきている方に対して、収支プラン・貸付あつせん表等、短期から中長期の計画表を相談者と作成し、生活の立て直しと自立に向けた家計作りを行う

※特例貸付終了後、家計のバランスが取れなくなっていることで相談増。

| | |
|---------|-----|
| 相談支援者数 | 72名 |
| プラン対象者数 | 6名 |

(2) 就労準備支援事業

就労への困難を抱えている方に対して、就労体験や就労訓練を行い、就労課題の解決を図る。また、中小企業家同友会や一般企業、ハローワーク、ジョブカフェ等との連携を図り、就労への一歩を踏み出すための取組を参加支援事業と組み合わせながら対応する。

| | |
|---------------|-----|
| 対象者実人数 | 4名 |
| プラン作成（再プラン含む） | 5回 |
| ハローワーク連携対象者数 | 14回 |

| | | |
|---------|----|--|
| 企業等との連携 | 4回 | 参加支援事業の概要、就労体験メニューの説明する会議を開催。 |
| 就労体験実施 | 4名 | 対象者の就労経験や就労の幅を広げるため、中津市内の企業に協力してもらい、書類製作・軽作業等を合同会社「は・た・ら・け・る」とも連携して実施。 |

(3) 社会資源等研究開発事業

生活困窮者に対して不足している資源について調査・取り組みを実施。

①調査・研究

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| 制服バンク検討のための調査 | 先駆的に取り組んでいる杵築市への研修調整（日程が合わずR6年度に持ち越し） |
|---------------|---------------------------------------|

②資源開発（フードバンクnicoの取り組み）

- フードドライブ・・・毎月25日に食品を受付
他 イオン三光・ゆめタウン・サンリブが協力
シン・みんなのふくしまつりにて実施
本所・各エリアと中津市環境政策課にて受付

| 実施回数 | 寄付者数（延べ） | 品数 | 重さ |
|------|----------|--------|---------|
| 43 | 324名 | 5,058品 | 4,463kg |

○nicoイベント（食事の提供）

| 実施回数 | 提供数 | |
|------|------|--------------------------------|
| 1回 | 267食 | (12月) nicoキッチン・・・食事の提供（カレーライス） |

(4) ひきこもり支援事業

ひきこもりの人及びその家族に対する支援事業。家族支援や関係機関との連携により、つながる相談を実施。

①相談支援

相談件数

| |
|-----|
| 16件 |
|-----|

| 対象者内訳 | 男性 | 女性 | 不明 | 29歳以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 不明 |
|-------|----|-----|----|-------|-----|-----|-----|-------|----|
| | 5名 | 10名 | 1名 | 1名 | 3名 | 2名 | 0名 | 2名 | 8名 |

②家族支援

| | | |
|--|------|-----------------|
| ・家族交流会開催 情報提供の場とご家族同士の 居場所づくりとして開催 | 開催回数 | 参加者数 (内対象者数) |
| | 2回 | 16名 7名 |

③広報啓発

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等支援機関に対して、チラシ配布等の情報提供と連携。

(5) 一時生活支援事業

| | | | |
|------------------------------|------|-----|-------------------|
| ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給 | 実施回数 | 34回 | 1家族（4人）と1組（2人）を含む |
| | 実人数 | 13名 | |

(6) 支援調整会議

困窮事業プランの検討の会議。随時開催。

市福祉政策課、生活保護係、障害福祉係等と社協で相談者の自立に向けてのプランについて協議する。

| |
|----|
| 回数 |
| 6回 |

(7) その他の支援事業

①備品貸出し

| | | |
|--|------|-----|
| 日常生活に必要な備品（カセットコンロ、炊飯器、電気ケトル、自転車等）の一時貸出し | 延べ回数 | 14回 |
| | 実人数 | 14名 |

②食糧支援

| | | |
|-------------------------------|------|------|
| 食料がない方への緊急的な食糧支援（米、インスタント食品等） | 延べ回数 | 163回 |
| | 実人数 | 120名 |

16) 重層的支援体制整備事業

包括的支援体制づくりに向けて、自立相談（総合相談受付）・多機関協働・参加支援・アウトリーチ等を通じた継続的支援・地域力強化の一体的に進める事業。※地域力強化推進事業については「地域福祉ネットワーク」「講座・研修会」の項で別掲

(1) 自立相談支援事業

何かしらの事情で生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を持つ。相談件数は前年度より減少しているが、複合的な課題が増加。

暮らしの総合相談支援実績 412件

相談種別（ケースにより重複）

| 病気、健康、障がい | 住まい | 収入・生活費 | 家賃・ローンの支払 | 税金や公共料金の支払 | 債務 | 仕事探し、就職 | 仕事上の不安やトラブル | 地域との関係 | 家族・人間関係 |
|-----------|-----|-----------|-----------|------------|------|---------|-------------|--------|---------|
| 52件 | 46件 | 154件 | 8件 | 22件 | 13件 | 33件 | 7件 | 3件 | 10件 |
| 子育て | 介護 | ひきこもり・不登校 | DV・虐待 | 食べる物が無い | 生活支援 | 権利擁護 | その他 | 合計 | |
| 2件 | 13件 | 16件 | 3件 | 32件 | 78件 | 41件 | 98件 | 631件 | |

※その他については、不安の訴えや外国人相談、ホームレス等複合的な課題

(2) 多機関協働支援事業

複合的な課題を抱えた人や世帯の支援を行う際、多分野の関係機関との関係を作る調整の役割を担い、分野や年齢で隔たない包括的な支援体制構築を図る。

| | | |
|----------------|-----|--|
| 重層的支援体制整備事業研修会 | 1回 | 支援連携会議の参加者（行政職員）と民間の福祉機関を対象に、重層的支援体制整備事業の制度理解、庁内連携等の学びを深め、相談・連携・協働による包括的支援体制づくりの推進を図るため、研修を行う。参加者：36名 |
| 支援連携会議 | 11回 | 市役所内の福祉以外にも含めた庁内連携を軸に、中津市における課題解決から社会資源創出、連携の幅を広げることを目的とする。また、社協や民間支援機関、地域とつながるための「核」となる会議体となっている。地域福祉計画の推進に関わるものとなっている。 |
| 重層的支援会議 | 2回 | 重層的支援体制整備事業に関わる事業に関係するプランについて検討する会議。R5年度は参加支援事業を利用するプランについて協議。2回開催。 |
| 福助ネット会議 | 9回 | 複合的な課題を解決するために、多機関対応協働事業に位置付けている。毎月1回開催。参加者は、社協と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るCSW及びスクールソーシャルワーカー、医療関係者等となっている。情報共有を行い、相談者に対する効果的な支援を行うための会議。 |

(3) 参加支援事業

①社会参加促進として「就労支援」をテーマに取り組む。

| | | |
|--|-------|-----|
| 就労支援アドバイザーと協力し、働きづらさを抱える多様な人への参加の機会を作る | 相談件数 | 11件 |
| め、企業の協力による就労体験のメニュー作りと相談支援を実施。 | プラン対象 | 2名 |

②『さんかく△ふれいす』（居場所）の実施。

| | | |
|--------------------------------------|--------|----|
| 就労等相談ステーションや多様なニーズにあわせた居場所づくりの一環として、 | 開所回数 | 4回 |
| 合同会社「は・た・ら・け・る」の場所にて実施。 | 相談来所件数 | 2件 |

| | | |
|------------|----|--|
| 参加支援事業説明会議 | 1回 | 参加支援事業の概要、情報共有連携会議を開催。参加者：中津市役所福祉支援課、福祉政策課、子育て支援課、企業立地・雇用対策課、中津公共職業安定所、ジョブカフェ大分中津サテライト、中小企業同友会中津支部、合同会社「はたらける」 15名 |
|------------|----|--|

(4) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

①くらしの総合相談窓口等のチラシ配布による広報活動や関係機関への働きかけにより、必要な情報が届き相談につながる。

| | |
|-------|-----|
| 実相談者数 | 11名 |
|-------|-----|

②各地域の住民会議の場に参加し、困っている人が相談窓口につながるよう、制度の周知と情報共有、広報活動等を行う。（事業説明、食糧配布支援等）

| | |
|--------|----|
| 啓発活動回数 | 7回 |
|--------|----|

③SOS発見につなぐ支援

○フードパントリー・・・困窮世帯への食糧配布
4月（山国エリア）7月（本所）8月（本耶馬溪）
10・3月（本耶馬溪・耶馬溪・山国エリア）
12月（本所）にて実施

| | |
|-------|-------|
| 実施回数 | 6回 |
| 配布世帯数 | 214世帯 |

○ライスパントリー・・・困窮世帯へのお米配布
11月に本所・本耶馬溪・耶馬溪・山国にて実施

| | |
|-------|-------|
| 実施回数 | 1回 |
| 配布世帯数 | 106世帯 |

17) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・年間の支援回数

| |
|--------|
| 2,022件 |
|--------|

・新規相談受付件数

| |
|-----|
| 99件 |
|-----|

・新規契約

| |
|-----|
| 65件 |
|-----|

 ・解約者

| |
|-----|
| 47件 |
|-----|

・契約者数（3/31現在）

| |
|------|
| 158名 |
|------|

内訳

| 居住エリア別 | 中津 | 三光 | 本耶馬溪 | 耶馬溪 | 山国 | その他※1 | 合計 |
|---------|---------|----|----------|--------|-------|-------|------|
| | 108名 | 8名 | 19名 | 11名 | 7名 | 5名 | 158名 |
| 居住状況別 | 在宅 | | 施設（GH含む） | | 病院 | | 158名 |
| | 84名 | | 61名 | | 13名 | | |
| 世帯経済状況別 | 生活保護世帯 | | | 生活保護以外 | | | 158名 |
| | 70名 | | | 88名 | | | |
| 障がい種別 | 65歳以上 | | 40～64歳 | | 39歳未満 | | 158名 |
| | 120名 | | 25名 | | 13名 | | |
| 障がい種別 | 認知症等高齢者 | | 知的障がい | 精神障がい | その他※2 | | 158名 |
| | 78名 | | 25名 | 17名 | 38名 | | |

※1…契約している方が大分・日田・宇佐・豊前の施設等に一時的に入所・入院

※2…障がい疑われる人

・生活支援員登録数

| |
|-----|
| 19名 |
|-----|

18) 成年後見事業

(1) 市民後見推進事業

今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進（市受託事業）

①会議の開催

| 事業項目 | 回数 | 内容 |
|-------------|----|--|
| 市民後見推進協議会会議 | 2回 | 学識経験者・弁護士・司法書士・社会福祉士・行政等と家裁主任書記官（オブザーバー）で構成する事業推進の協議会（5/24、3/18） |

②市民後見推進研修会の開催

成年後見制度の必要性や市民後見人に対する理解を深めていただくための研修会を開催。

| 開催回数 | 参加者数 | 内容 |
|------|------|--|
| 2回 | 47 | 【第1回】 開催日時：令和5年8月26日（土）午後1時から3時 開催場所：教育福祉センター 多目的ホール 内容：①制度説明「成年後見制度利用促進に向けて」 講師 大分県福祉保健企画課 團 秀晃 氏 ②講演「成年後見人の仕事について」 講師 権利擁護支援センターばあととなあ大分 松尾 慶一 氏 |
| | 61 | 【第2回】 開催日時：令和6年2月10日（土）午後1時から3時 開催場所：教育福祉センター 多目的ホール 内容：①講演「相続と遺言」 講師 大分地方法務局中津支局 首藤 恵美 氏 ②活動報告1「なかつ市民後見人の会『らいとふる』について」 報告者 なかつ市民後見人の会らいとふる 会長 梅木 治三郎 氏 副会長 梶藤 銀子 氏 活動報告2「実践報告」 報告者 中津市社会福祉協議会 後見支援員 木下 互 氏 |

③市民後見人養成講座の開催（隔年開催）

隔年開催のため、令和5年度は実施なし

④市民後見人候補者登録数（3/31現在）

| |
|-----|
| 37名 |
|-----|

⑤市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人を対象に研修を開催。
登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

| | | | |
|----|------|-----|---|
| 講義 | 開催回数 | 5回 | ・成年後見制度と市町村の責任について ・養護老人ホームについて ・おひとりさまの終活について 等 |
| | 参加者数 | 77名 | |
| 実務 | 開催回数 | 5回 | ・事例検討・成年後見制度に関する書類作成について・施設実習等 |
| | 参加者数 | 62名 | |

⑥市民後見人の会との連携・サポート

| 事業項目 | 回数 | 内容 |
|--------------|-----|---|
| 市民後見人の会 活動支援 | 17回 | 令和2年度に組織化された「市民後見人の会」に対し、必要に応じて助言や定例会への参加、会独自の勉強会への講師派遣等を行った。 役員会への出席11回、定例会への出席（講師派遣含む）6回 |

(2) 法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上保護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。（市受託事業）

| 事業項目 | 数 | 内容 |
|--------------|-----|---|
| 新規受任者数 | 4件 | 後見：3件 、保佐：0件 、補助：1件 |
| 後見業務 | 24件 | 累計受任数50件の事務。これまで24名の被後見人が亡くなっている。 他、転居のため辞任1名、補助開始の審判の取消による終了1名。 後見：15件 、保佐：6件 、補助：3件 |
| 法人後見支援員登録者数 | 19名 | 令和5年度市民後見人候補登録者37名中。 |
| 後見業務に携わる支援員数 | 8名 | 法人後見支援員19名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。 |

(3) 成年後見支援センター事業（中核機関）

成年後見制度の利用促進のために、利用に向けての相談支援や地域や関係機関に対する制度啓発、さらに適切な制度利用に向けての調整役を担う。

①相談対応

| | | |
|--------------|------|---|
| 権利擁護に関する相談件数 | 152件 | 成年後見制度説明、申立てに関する事、家庭裁判所に関する事、日常生活自立支援事業に関する事、虐待に関する事、親亡き後の支援の事 など |
| うち申立支援件数 | 19件 | |

②会議の開催

| | | | |
|--------------|------|------|---|
| 権利擁護支援方針検討会議 | 開催回数 | 24回 | 生活に課題を抱える対象者について、制度利用を含めて、今後の支援方針を検討する会議。対象者に直接かかわる支援者で対象者の現状やこれまでの生活歴などを共有し、制度利用の必要性や時期、成年後見人等の候補者などについて協議。対象者の生活を見守る体制づくりも兼ねている。原則月1回開催だが、定例での開催以外に、既存の会議等も活用した。 *権利擁護支援方針シートを整備し、十分なアセスメントを行った。 *この場で制度利用が必要となった事案については、受任者調整会議に諮る |
| | 協議件数 | 108件 | |
| 受任者調整会議 | 開催回数 | 6回 | 令和2年度末に策定された「中津市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、設置。原則2ヶ月に1回開催。市長申立てや本人・親族申立に関する事案などで受任者の調整が必要な事案について、専門職等で幅広く調整・協議。 構成委員：弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、施設職員、行政、社協 計9名 |
| | 協議件数 | 13件 | |

③広報啓発

| | | |
|--------|-----|---|
| 広報啓発件数 | 34件 | 成年後見支援センターについて、どういう役割を担うところなのか、説明・周知を図ることを目的に、各種地域の会議や研修会等を活用して説明を行ったほか、既存の広報媒体（広報誌、ホームページ等）にて広報した。 |
|--------|-----|---|

1 9) 介護保険要介護認定調査事業

要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅や施設へ訪問し、対象の方の心身の状況など調査（市受託）

| 調査名 | R5年度 |
|-----|--------|
| 更新 | 1,896件 |
| 新規 | 241件 |
| 変更 | 292件 |
| 合計 | 2,429件 |

20) 放課後児童クラブ事業

就労等により昼間保護者のいない小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。
(市受託事業)

| 年間実施日数 1,351日開設 | | 登録児童人数 | 93名 | 延利用児童人数 | 15,911名 |
|-----------------|------|--------|-----|---------|---------|
| 真坂 | 283日 | 真坂 | 24名 | 真坂 | 4,518名 |
| 山口 | 282日 | 山口 | 18名 | 山口 | 2,968名 |
| 秣 | 251日 | 秣 | 19名 | 秣 | 2,546名 |
| 樋田 | 284日 | 樋田 | 22名 | 樋田 | 4,209名 |
| 城井 | 251日 | 城井 | 10名 | 城井 | 1,670名 |

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) 住民参加型有償サービス事業（社協型）

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施。

社協運営登録者数

協力会員 6名 利用会員 9名 延利用回数 281回

2) 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいがいづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。（市受託事業）

(1) 生活支援コーディネーター設置

| コーディネーター | 人数 |
|-----------------|----|
| 第1層生活支援コーディネーター | 1名 |
| 第2層生活支援コーディネーター | 7名 |

南部・今津・三光（2名）・山国・沖代・豊田（新規）

(2) 生活支援コーディネート業務

・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

| 内容 | 第1層 | 第2層 |
|----------------------------------|-----|------|
| いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握 | 31回 | 177回 |
| 住民型有償サービス定例会等への参加により高齢者の状況や課題を把握 | 33回 | 36回 |
| 元気！いきいき☆週一体操への参加による実態把握 | 10回 | 98回 |

・地域への働きかけ

| | |
|---------------------|-----|
| 有償サービスネットワーク協議会への参加 | 11回 |
| 地域福祉ネットワーク協議会会議への参加 | 80回 |
| 民生委員会等への参加 | 28回 |

・資源開発

| | |
|-------------------|----|
| 住民型有償サービス立ち上げ支援 | 1回 |
| 担い手の育成（各種講座開催・協力） | 7回 |

・ニーズに対するマッチング

| | |
|-----------------|-----|
| 生活支援サービスコーディネート | 77回 |
|-----------------|-----|

・その他

| | |
|-------------------------|-----|
| コーディネーター学習会の開催 | 12回 |
| 第2層生活支援コーディネーター活動情報誌の発行 | 3回 |

(3) 協議体

| | | |
|--------|-------------------------------|------|
| 第1層協議体 | 「生活支援・介護予防を考える会」～移動・外出支援について～ | 開催無し |
| | 「生活支援・介護予防を考える会」～高齢者の就労について～ | 開催無し |
| 第2層協議体 | 三光地区小地域ネットワーク協議会にて開催 | 15回 |

(4) 多機能型地域生活拠点づくり「よりあ」

| 地区 | 場所 | よりあ | 開催回数 | 参加者数（延べ） | 内容 |
|-----|------------|------------|------|----------|------------------------------------|
| 南部 | 小祝憩いの家 | 小祝よりあ | 10回 | 47名 | 高齢者の閉じこもり予防の“場”づくり |
| | 南部まちなみ交流館 | 諸町よりあ | 6回 | 21名 | 街場に住んでいる独居または高齢世帯の居場所づくり |
| 沖代 | すずめの家 | 沖代よりあ | 2回 | 11名 | 困りごと相談、情報提供の“場”づくり |
| 今津 | 今津拠点 | まったり庵 | 8回 | 41名 | 大勢の場所に行きづらいと感じている人の居場所、情報提供の“場”づくり |
| | | わっはっは | 0回 | 0名 | 多世代間交流の場、お話しなど情報共有の場 |
| 耶馬溪 | まーちゃん家 | 耶馬溪出張よりあ | 3回 | 47名 | 耶馬溪地区のボランティア等お世話役の方が元気になる“場”づくり |
| 山国 | 山国社会福祉センター | 山国よりあ | 10回 | 83名 | 「共食」をテーマに参加者と一緒に調理、会食を実施。 |
| 三光 | 三光拠点 | 三光シニアおやじの会 | 1回 | 5名 | 退職後の男性の居場所づくり |
| 豊田 | 豊田公民館 | 豊田よりあ | 2回 | 30名 | 「ぶら〜り街の保健室」のミニ講座として開催。 |
| 1層 | ゆめタウン | ゆめタウンよりあ | 2回 | 23名 | 令和5年度初の試み。 |

(5) 会議等への参加・協力

| | |
|-----------------------------|-----|
| 中津市在宅医療介護連携推進協議会 | 1回 |
| 中津市在宅医療介護連携推進協議会 普及啓発ワーキング | 4回 |
| 中津市在宅医療介護連携推進協議会 社会的処方ワーキング | 3回 |
| 地域ケア会議への参加（助言者として） | 12回 |
| 地域ケア会議への参加（2層Coの傍聴参加） | 3回 |
| オレンジカフェ | 5回 |
| ケース会議 | 1回 |
| SOS声かけ模擬訓練会議 | 4回 |

(6) 各種講座・研修会の開催

| No. | 講座・研修名 | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|-----|---------------------|----|-----|----------|---|---|
| 1 | 住民型有償サービスマネージャー研修 | 2回 | 72名 | 6月 3月 | 有償サービス マネージャー 他 | 住民型有償サービス団体でマネージャーとして活動していく上で必要な知識や情報共有を行う。 ①「認知症の方への対応」講師：包括村上 栗田氏、末吉氏 ②「Wマネージャー研修」※ケアマネとの意見交換ほか |
| 2 | 支えあいスタッフ養成講座 | 3回 | 51名 | 1月 2月 | 主に如水地区 住民 | 「お互いに助け合う気持ち」を基本とした住民同士の地域支え合い活動（ボランティア活動やサロン活動、住民型有償サービス活動など）の推進を目的に開催。 講師：①包括いずみの園 永松氏 ②訪問看護ステーション樹の子 村岡氏 いずみの園ホームヘルプステーション 和間氏 ③沖代どんぐりサービス 吉田氏、成田氏 |
| 3 | 人のつながり応援事業「安全運転講習会」 | 1回 | 4名 | 3月 | 運転ボラン ティア | 安全運転に関する意識の向上と事業内容の再確認を目的に開催。 講師：中津警察署 野田憲一郎係長 |
| 4 | 豊田地区 支えあい座談会 | 1回 | 5名 | 6月 | 支えあい養成 研修参加者、地域 支え合い活動に 関心のある方 | 支えあいスタッフ養成研修を行った後、継続的に座談会を開催。自分の住む地域に今ある住民活動を知り、今後更にどんな活動があったら良いか等、住民同士の地域支え合い活動の必要性について意見交換を行う場。 |

(7) 交流や連携を目的とした場の開催

| No. | 講座・研修名 | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|-----|-----------|----|-----|------|---|---|
| 1 | 南部つながり座談会 | 1回 | 13名 | 11月 | 南部地区住民 (福祉活動 者)、ケアマ ネージャー、 包括 | 専門職と地域の福祉活動者との顔合わせ・情報交換の場として開催。お互いの取り組みの理解を深め、事例等も交え意見交換を行った。 |
| 2 | 南部4サロン交流会 | 1回 | 15名 | 12月 | 南部地区のサ ロンお世話役 | サロン運営に携わる方々との交流会。ガンバルボールを使っての体操のレクチャーと各サロンの活動報告やサロン自慢、運営する中での困りの共有、それに対するアドバイス等。 |
| 3 | 地域サロン交流会 | 1回 | 8名 | 2月 | 市内の地域サ ロンお世話役 | 地域サロンのお世話役間の交流と情報交換を目的に開催。市内6団体中4団体の方に参加いただき、最近のサロンの様子や他のサロンに聞いてみたいこと、介助が必要な参加者への対応などについて話し合った。 |

3) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいづくりを目的として実施。（市受託）

| | |
|-------------|-------|
| サポーター登録者数 | 414名 |
| 受入登録施設・事業所数 | 106カ所 |
| サポーター延活動回数 | 4,318 |

（高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等）

中津市福祉の里づくりサポーター事業情報誌「ふくサポNo.8」 発行 年 1回 800部発行

4) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方（おねがい会員）と預かり等の援助を行う方（まかせて会員）との相互援助活動に関する相談援助・連絡調整を行う。（市受託）

| | | | |
|--------------|------|-------------|-------|
| おねがい会員登録者数 | 115名 | 活動件数 | 243件 |
| まかせて会員登録者数 | 87名 | 活動延時間数 | 678.3 |
| 両方会員 | 0名 | お見合い件数 | 24 |
| まかせて会員調査4/18 | 93名 | 相談件数 | 278 |
| おねがい会員調査4/18 | 130名 | 会報発行No.4 4月 | 92部 |
| | | 会報発行No.5 9月 | 185部 |

11月20日：令和5年度まかせて会員養成講座開催 受講修了者 6名

6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

1) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【コース別】

| | |
|---------|-----|
| 聴覚コース | 18回 |
| 視覚コース | 14回 |
| 肢体コース | 15回 |
| エルダーコース | 12回 |
| オレンジコース | 4回 |
| 合計 | 63回 |

【年度実績】

| | |
|--------------|--------|
| 実施小学校数(校) | 20校 |
| 年間開催回数(回) | 63回 |
| 受講者数 児童生徒(人) | 2,730人 |
| 受講者数 保護者(人) | 58人 |

(1) わいわい福祉ひろば運営委員会の開催

福祉教育の推進に関わる事業の運営について、各コースから選出されたタレントが運営委員となり、多様な考えや意見を反映させることにより、さらなる事業の発展を目指す目的として、わいわい福祉ひろば運営委員会の設置及び開催。

| | | |
|------|----|--|
| 運営委員 | 6名 | わいわい福祉ひろばタレントで構成 |
| 開催回数 | 1回 | 5月：令和4年度事業報告、令和5年度実施希望の確認、意見交換 3月：福祉教育推進運営委員会(仮)として再構築準備のため中止 |

(2) 研修会の開催

| 講座・研修名 | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|---------------------------------|----|-----|------|---------------|--|
| わいわい以外研修会「どんな気持ちで子ども達に何を伝えているか」 | 1回 | 19名 | 8月 | わいわい福祉ひろばタレント | 長らくタレント同士の交流の機会が無く、新規タレントや他のコースとの交流を通じて、相互理解を深める。また、現在の教育現場の状況、子どもの多様性や求められる配慮などについて学びを深め、今後の活動に活かすことを目的として開催。 |

2) 社協だよりの発行

| 名称 | 年間発行回数 | 1回の平均部数 | 主な配布先 | 備考 |
|----------------|--------|---------|-----------|------------------|
| 社協だより なかつ | 3回 | 34,985部 | 市内全戸 | 6/15、10/1、2/15発行 |
| 社協だより なかつ(点字版) | 3回 | 17部 | 市内視覚障がいの方 | 同上 |

3) エリアの取り組み

(1) エリア広報紙(地域福祉情報紙)の発行

| 地区 | 名称 | 年回数 | 1回の平均部数 | 主な配布先 |
|------|-------|-----|---------|---------|
| 三光 | とんぼのめ | 6回 | 2,000部 | 全戸、公共施設 |
| 本耶馬溪 | にじのはし | 5回 | 1,200部 | 全戸、公共施設 |
| 耶馬溪 | めいふる | 7回 | 1,500部 | 全戸、公共施設 |
| 山国 | かかし | 6回 | 930部 | 全戸、公共施設 |

(2) 各エリアの地域福祉の取り組み

| No. | 取り組み | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|------|-------------------|-----|------|------------|-------------------|--|
| 三光 | サロン交流会 | 1回 | | 7月 | サロンお世話役 | 令和5年度に初めて開催。サロン同士の情報共有を図るとともに、交流の機会をとおしてモチベーションの維持を図る。 |
| | 小地域ネットワーク会議 | 15回 | 127名 | 1月 2月 | サロンお世話役 | ・R6年度のいきいきサロン年間計画の検討 ・地域内での困りごと、気になる人などの情報共有 |
| | 四季を楽しむバスツアー | 1回 | 15名 | 3月 | 下深水サロン参加者・近隣住民 | 路線バスが廃止となった地区を対象に、外出機会の減少による生活意欲の低下を予防し、サロン参加を含む人との交流機会の維持を目的として開催。令和4年度より準備を進め、令和5年度1地区にて開催に至る。 行先：網敷天満宮・太平楽 |
| | 福祉ボランティア講座「遊びの学校」 | 2回 | 17名 | 3月 | 三光地区地域住民 | 楽しみながら地域で活動できる人材を養成することを目的に、社協で貸し出しているレク用具を活用した講座を開催。 内容：ガンバルーンボール(前年度参加者を中心に広報。新規参加者も参加) |
| 本耶馬溪 | おでかけサロン買い物バスツアー | 5回 | 71名 | 10月 11月 | サロン利用者 サロン近隣住民 | 地区内のサロン(寄り合いの場)を拠点として、大型店舗等への買い物バスを運行し、サロンの活性化と地域課題の一つである「買い物」に対する支援を行うことで外出意欲の向上を目指す |
| | 遊びの学校・サロン交流会(合同) | 1回 | 10人 | 2月 | サロン利用者 週一体操参加者 | 地区内のサロン等寄り合いの場参加者にサロンで使えるレクリエーションの情報提供を行うとともに、参加者同士の交流の機会とする。情報交換とお世話役同士の交流を図ることで、モチベーションの維持を図る |

| No. | 取り組み | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|-----|-----------------------|----|-----|------|---------|---|
| 耶馬溪 | 福祉ボランティア講座 「遊びの学校」 | 1回 | 11名 | 10月 | サロンお世話役 | 楽しみながら地域で活動できる人財を養成することを目的に、社協で貸し出ししているレク用具を活用した講座を開催。 内容：ガンバルーンボール（前年度参加者を中心に広報。新規参加者も参加） |
| | 耶馬溪サロン交流会 | 1回 | 17名 | 12月 | サロンお世話役 | サロン同士の情報交換と交流の機会として開催。令和5年度は認知症地域支援推進員による「コグニサイズ」の実践も行い、サロンで実施できる講座の紹介も行う。 |
| 山国 | いきいきサロン ネットワーク会議 | 1回 | 14名 | 10月 | サロンお世話役 | サロン同士の情報交換と交流の機会として開催。 |
| | 福祉ボランティア講座 「遊びの学校」 | 1回 | 20名 | 11月 | サロンお世話役 | 楽しみながら地域で活動できる人財を養成することを目的に、令和5年度は手作りレク用具を活用した講座を開催。 内容：びゅーんびゅーん新幹線 |

(3) 安心生活支援事業（買い物支援事業：山国）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等のうち、買物が不便な方が登録。利用者の依頼に対して買い物代行し、自宅に届ける事業。

| | |
|----------------------|----------|
| 利用登録会員 | 18名 |
| 実利用者数 | 9名 |
| 買い物配達回数 | 168件 |
| 買い物支援を行った販売金額 | 272,261円 |
| * 1回当たりの平均購入額 1,621円 | |

(4) 葬祭壇貸出事業

【貸出件数】

| | |
|-----|----|
| 耶馬溪 | 0件 |
| 山国 | 1件 |
| 合計 | 1件 |

4) 事業所広報紙・新聞

| No. | 広報紙・新聞名 | 年間発行回数 | 1回の平均部数 | 主な配布先 |
|-----|-----------|--------|---------|----------------------|
| 1 | やすらぎだより | 12回 | 125部 | 施設入所者の家族と関係者 |
| 2 | 豊寿園だより | 3回 | 100部 | 施設入所者の家族と関係者 |
| 3 | ウテリー だより | 4回 | 80部 | 利用者の家族と公共の施設（山国地区） |
| 4 | なのはな便り | 4回 | 80部 | 利用者の家族と公共の施設（耶馬溪地区） |
| 5 | ひなぎく | 3回 | 80部 | 利用者の家族と公共の施設（本耶馬溪地区） |
| 6 | さんこうデイだより | 12回 | 30部 | 利用者の家族と公共の施設（三光地区） |

5) ホームページ

ホームページのリニューアルを行い、新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

7. 法人組織体制の強化

1) 職員配置状況（所属別）

①所属別 令和6年3月31日現在 単位：名

| 名称 | 正規 | 嘱託 | 非常勤 | 再雇用 | 計 |
|---------|-----|----|-----|-----|-----|
| 総務課 | 11 | 4 | 1 | 0 | 16 |
| 地域福祉課 | 27 | 7 | 11 | 1 | 46 |
| 福祉サービス課 | 3 | 8 | 41 | 0 | 52 |
| 在宅福祉課 | 30 | 19 | 63 | 3 | 115 |
| 豊寿園 | 10 | 4 | 22 | 0 | 36 |
| やすらぎ荘 | 43 | 3 | 27 | 6 | 79 |
| 計 | 124 | 45 | 165 | 10 | 344 |

②拠点別 単位：名

| 名称 | 正規 | 嘱託 | 非常勤 | 再雇用 | 計 |
|----------------|-----|----|-----|-----|-----|
| 中津市教育福祉センター | 18 | 9 | 6 | 0 | 33 |
| 養護老人ホーム豊寿園 | 10 | 4 | 22 | 0 | 36 |
| 三光コミュニティセンター | 11 | 7 | 12 | 1 | 31 |
| 放課後児童クラブ（5か所） | 0 | 0 | 19 | 0 | 19 |
| 本耶馬溪総合福祉センター | 6 | 6 | 8 | 0 | 20 |
| 市本耶馬溪支所 | 16 | 1 | 1 | 1 | 19 |
| 特別養護老人ホームやすらぎ荘 | 43 | 3 | 27 | 6 | 79 |
| 市耶馬溪支所 | 7 | 2 | 23 | 0 | 32 |
| 耶馬溪デイサービスセンター他 | 5 | 4 | 18 | 0 | 27 |
| 耶馬溪生活支援ホーム | 0 | 1 | 7 | 0 | 8 |
| 山国社会福祉センター | 4 | 0 | 2 | 1 | 7 |
| 山国高齢者生活福祉センター | 4 | 8 | 20 | 1 | 33 |
| 計 | 124 | 45 | 165 | 10 | 344 |

※兼任している職員は、主としている事業所に計上

2) 法人内部における会議・委員会

| | | | | | | | |
|----|---------------|----|-------|----|-----------------|----|---------|
| 1 | 課長会議 | 26 | 総務課 | 27 | 訪問介護部会 | 5 | 在宅福祉課 |
| 2 | エリア会議 | 59 | 総務課 | 28 | 在宅福祉課主任・副主任会議 | 3 | 在宅福祉課 |
| 3 | 係長会議 | 5 | 総務課 | 29 | 居住部会 | 2 | 福祉サービス課 |
| 4 | やすらぎ運営会議 | 12 | やすらぎ荘 | 30 | 献立委員会 | 12 | 豊寿園 |
| 5 | 喀痰吸引委員会 | 12 | やすらぎ荘 | 31 | 感染対策委員会(定例) | 4 | 豊寿園 |
| 6 | 栄養管理委員会 | 12 | やすらぎ荘 | 32 | 感染対策委員会(コロナ・臨時) | 6 | 豊寿園 |
| 7 | 身体拘束未然防止委員会 | 10 | やすらぎ荘 | 33 | 事故防止対策委員会 | 12 | 豊寿園 |
| 8 | 感染症防止委員会 | 10 | やすらぎ荘 | 34 | 身体拘束適正化委員会 | 4 | 豊寿園 |
| 9 | 事故防止委員会 | 10 | やすらぎ荘 | 35 | 職員会議 | 12 | 豊寿園 |
| 10 | 褥瘡防止委員会 | 4 | やすらぎ荘 | 36 | 広報委員会 | 5 | 豊寿園 |
| 11 | 認知症ケア委員会 | 1 | やすらぎ荘 | 37 | 入所者対話の日 | 12 | 豊寿園 |
| 12 | イベント・行事委員会 | 1 | やすらぎ荘 | 38 | 離設訓練会議(振り返り) | 1 | 豊寿園 |
| 13 | ノーリフティングケア委員会 | 3 | やすらぎ荘 | 39 | 正職支援員会議 | 4 | 豊寿園 |
| 14 | キャリアアップ委員会 | 1 | やすらぎ荘 | 40 | 支援員会議 | 12 | 豊寿園 |
| 15 | 看取りケア委員会 | 1 | やすらぎ荘 | 41 | 夜勤支援員会議 | 2 | 豊寿園 |
| 16 | 高齢者虐待防止・接遇委員会 | 1 | やすらぎ荘 | 42 | 補助支援員会議 | 1 | 豊寿園 |
| 17 | 主任・副主任研究会 | 12 | やすらぎ荘 | 43 | 日勤支援員全体会議 | 1 | 豊寿園 |
| 18 | 各介護グループ、医務室会議 | 17 | やすらぎ荘 | 44 | ケース会議 | 33 | 豊寿園 |
| 19 | 生きがい通所介護部会 | 2 | 在宅福祉課 | 45 | 看護職員会議 | 11 | 豊寿園 |
| 20 | 居宅介護支援部会 | 2 | 在宅福祉課 | 46 | ふれあい祭り運営委員会 | 5 | 豊寿園 |
| 21 | 通所介護部会 | 8 | 在宅福祉課 | 47 | 運動会運営委員会 | 5 | 豊寿園 |
| 22 | 通所相談員部会 | 3 | 在宅福祉課 | 48 | 忘年会運営委員会 | 2 | 豊寿園 |
| 23 | 通所看護職部会 | 6 | 在宅福祉課 | 49 | 次年度年間行事会議 | 1 | 豊寿園 |
| 24 | 通所介護職部会 | 4 | 在宅福祉課 | 50 | 事業計画・予算会議 | 1 | 豊寿園 |
| 25 | 通所機能訓練部会 | 2 | 在宅福祉課 | 51 | 障がい者加算算定会議 | 1 | 豊寿園 |
| 26 | 通所調理職部会 | 5 | 在宅福祉課 | 52 | BCP策定会議 | 10 | 豊寿園 |

8. 各種地域福祉事業

1) 三光児童館事業

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもの健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

1) 開館日数 263日

児童館利用者数 11,156名

| | |
|------------|---------|
| 就学前児童 | 333名 |
| 小学生 | 10,207名 |
| 中高生 | 192名 |
| 保護者・ボランティア | 424名 |

2) 三光児童館運営協議会の開催

日にち: 令和6年3月12日(火) 開催

3) 子育て支援拠点事業

| | 開催日数 | 参加者数 | 場所 |
|---------|------|------|-------------|
| 子育てひろば | 38日 | 414名 | 三光児童館内 |
| ともだちひろば | 17日 | 15名 | 山国・耶馬溪・本耶馬溪 |

4) 放課後児童対策子どもの居場所確保事業

5) 広報

| 名称 | 発行月 | 月部数 | 備考 |
|-------------------------|-----|------|--------------------------------|
| 児童館だより | 12回 | 600部 | 三光地区の小中学校と児童関係の施設、ホームページ(市・社協) |
| 子育てひろばだより(三光) | 11回 | 50部 | 市役所、市内の子育て支援拠点、ホームページ(市・社協) |
| ともだちひろばだより(山国・耶馬溪・本耶馬溪) | 4回 | 10部 | 未就園児家庭、ホームページ(市・社協)各支所告知放送 |

9. ボランティア・市民活動センター事業

1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談

57件

②ボランティア登録状況

| 種別 | 団体数 | 団体会員数 |
|------|-------|--------|
| 団体Vo | 130団体 | 3,131名 |
| 個人Vo | | 626名 |
| 計 | 130団体 | 3,757名 |

③ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 2,826名

④ボランティア体験月間の取り組み

| | | 夏のボランティア体験 | 春のボランティア体験 | 合計 |
|-----------|----------|------------|------------|------|
| 実施期間 | | 令和5年7月～8月 | 令和6年3月～4月 | |
| 受入施設数 | | 35カ所 | 16カ所 | |
| 参加者 内訳 | 一般 | 1名 | 0名 | 1名 |
| | 大学・専門学校生 | 22名 | 0名 | 22名 |
| | 高校生 | 105名 | 92名 | 197名 |
| | 小・中学生 | 11名 | 0名 | 11名 |
| | 参加者合計 | 139名 | 92名 | 231名 |

⑤ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指す目的として、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

| | | |
|------|-----|--|
| 運営委員 | 10名 | 学識経験者、ボランティア活動者、当事者団体、地域活動者等で構成 |
| 開催回数 | 2回 | 9月：令和5年度事業経過報告、質問・意見交換 2月：令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、質問・意見交換 |

2) ボランティア情報紙の発行

| 名称 | 年回数 | 1回の平均部数 | 主な配布先 |
|--------------------|-----|---------|-----------------------------|
| ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん | 6回 | 5,700部 | 公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど |

3) ぼらかふえの開催

| | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|-------|----|-----|--------------------------|-------------------------|--|
| ぼらかふえ | 5回 | 53名 | 6月, 8月 10月, 12月 2月 | ボランティア活動者、ボランティアに興味のある方 | 経験の有無に関わらず情報交換や交流を行いながらボランティア活動の活性化を図ることを目的に、ボランティア活動者やボランティアに興味がある方などが気軽に集える場として、コーヒーを飲みながら談笑し交流するカフェスタイルで開催。 |

4) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座の開催

| No. | 講座・研修名 | 回数 | 参加者 | 開催時期 | 対象 | 概要 |
|-----|--|----|-----|--------|-----------------------|--|
| 1 | 地域福祉講座 「個別避難計画・福祉 避難所学習会」 | 1回 | 21名 | 5月 | 相談支援事業所、自立支援協議会構成員、行政 | 「障がいのある方」の個別避難計画づくりにおいて、大切なポイントは何か、進まない要因などについて共に学ぶ機会として開催。 講師：一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 湯井恵美子氏 |
| 2 | ボランティア入門講座 「男塾」 珈琲講座 | 1回 | 16名 | 7月 | 概ね50歳以上の男性 | 「男性がボランティア活動に参加するきっかけづくり」として珈琲講座を開催。（珈琲講座はR5年度より独立講座となる） 講師：奥村哲生氏 |
| 3 | ボランティア入門講座 「読み聞かせボラ 養成講座」 | 1回 | 24名 | 12月 | ボランティアに興味のある市内の方 | 本や読み聞かせに興味のある方を対象に、読み聞かせボランティア養成講座を開催。講師：「西吉よみきかせグループえほんのくに」代表：松本千津代氏、高野正博・友子夫妻 |
| 4 | ボランティア養成講座 「ボランティアだよ！ 全員集合！！」 | 1回 | 37名 | 2月 | 市内で活動しているボランティア団体 | コロナ禍で交流の出来ていない団体同士の情報交換や運営をしていく中での心構えについて講話とグループワークを実施。 講師：夢こらぼ 松尾洋子氏 |
| 5 | 被災者支援ボランティア講座 「協働減災塾～今、私 たちができること～」 | 1回 | 43名 | 3月 | 被災者・被災地域支援を行う団体・一般市民等 | 令和5年度の豪雨災害で実際に支援に関わった団体による実践報告、講師による講座をおして、平常時からの連携・協働のあり方について考えることを目的として開催。 講師：オフィス園崎 園崎秀治氏 実践報告者：中津市しもげ商工会青年部 荻北隆義氏 大分県立中津北高等学校 きれまち隊 大分県建築士会中津支部 山村増治氏 NPO法人地域ひとネット 谷川真奈美氏 |
| 6 | 人のつながり応援事業 「安全運転講習会」 | 1回 | 4名 | 3月 | 運転ボランティア | 安全運転に関する意識の向上と事業内容の再確認を目的に開催。 講師：中津警察署 交通課交通安全係 野田憲一郎氏 |
| 7 | 福祉ボランティア講座 「遊びの学校～わくわく マイスター養成講座 ～」 | 4回 | 55名 | 10月～3月 | 三光～山国地区の地域住民 | 三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区において、楽しみながら地域で活動できる人材を養成することを目的に、社協で貸し出しているレク用具や手作りレク用具を活用した講座を各地区で開催。 (三光) 14名、3月 (本耶馬溪) 10名、2月 (耶馬溪) 11名、10月 (山国) 20名、11月 |

10. その他協事業

1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の研修、交流を図るための福祉バス「さつき号」の運行事業。

| 運行回数 | 延利用者数 |
|------|--------|
| 105回 | 2,238人 |

2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、災害（火災、風水害等）により家屋が損害を受けた世帯に対して、見舞金を支給。

火災 2 件 水害 36 件（内訳：全壊2件、半壊1件、一部損壊1件、床上浸水32件）

3) 施設等管理運営事業

| No | 施設名 | 開館日数 | 延利用者数 |
|----|--------------|------|---------|
| 1 | 中津市教育福祉センター | 309日 | 24,391名 |
| 3 | 三光工芸センター | 244日 | 351名 |
| 4 | 耶馬溪介護研修センター | 294日 | 147名 |
| 5 | すぱーく耶馬溪多目的広場 | 244日 | 639名 |
| 6 | 山国社会福祉センター | 336日 | 2,476名 |

11. 各種共催・後援状況、視察受入、協力

1) 行事の共催及び後援状況

| No. | 共催・後援 | 月日 | 内容 | 団体等 |
|-----|-------|------------|------------------------|-----------------|
| 1 | 後援 | R5. 10. 14 | 2023年度 県北地区福祉のしごと就職フェア | 大分県社会福祉介護研修センター |
| 2 | 後援 | R5. 11. 19 | アースデイ中津2023 | NPO法人 アースデイ中津 |
| 3 | 後援 | R5. 12. 3 | New杜の声 朗読コンサート | 朗読サークル New杜の声 |

2) 視察の受入れ、協力状況

| No. | 月日 | 県等 | 受入先 | 受入数 | 視察内容 |
|-----|----------|-----|----------------|-----|----------------|
| 1 | R6. 2. 9 | 嬉野市 | 杵藤地区社協連絡会 視察研修 | 12名 | 生活支援体制整備事業について |